

SHINANO DBC



■最後の夏の大会に出場する6年生の皆さん ※敬称略
上段左から、平野 柊哉(ひらの しゅうや)／猪狩 珀空(いがり はく) 下段左から、松田 梨央(まつだ りお)／高橋 楓(たかはし かえで)／小林 巧人(こばやし たくと)

7月15日に開催された、第29回全日本ドッジボール選手権北海道大会で千歳の《SHINANO DBC》が優勝。8月に茨城県水戸市で開催される全国大会に出場します。

《SHINANO DBC》は6年前に春の全国大会に出場したことはありますが、夏の全国大会は初出場。最初で最後の夏の大会に出場する6年生5人の中でキャプテンの高橋楓さんと監督の梅川善昭さんにお話をお聞きしました。

●ドッジボールとの出会いからキャプテンになるまでは

「7月15日に開催された、第29回全日本ドッジボール選手権北海道大会で千歳の《SHINANO DBC》が優勝。8月に茨城県水戸市で開催される全国大会に出場します。」

思い、はじめました。それまでスポーツをしたことがなく、最初のころは6年生が投げるボールが速くて怖かったけど、学年が上がるにつれて、怖さはなくなりました。6年生になり、チームを引っ張りたいと思い、キャプテンに立候補しました。」

●ドッジボールの魅力は

「勝ったときにみんな喜んでるのが楽しいです。ドッジボールは1チーム12人でやるスポーツなので、いろんな人と話したり、助け合いながらプレーするので友だちが増えました。昔はクラスの子としか話さなかったけど、ドッジボールをはじめてからは、違うクラスの子やほかの学校の子とも話すようになりました。」



全日本ドッジボール選手権北海道大会優勝・全国大会へ

「これまでの練習の成果を出して、楽しんでプレーしたい。」



▼キャプテンの
たかはし かえで
高橋 楓さん



▲監督の
うめかわ よしあき
梅川 善昭さん

●子どもたちへの指導で大切にしていることは

【梅川監督】「《失敗を大事にしよう》と声かけしてきました。失敗から学ぶことも多く練習を重ねるにつれて、チームとして弱点が減ってきました。また、言葉による意識付けを大切にしています。《全国大会に行こう》と口を酸っぱくして言ってきたことが、子どもたちの中でやる気や自信につながっているように感じます。」

ドッジボールは《助けたり、助けられたりするスポーツ》です。ときには衝突することもあります。《思いやり》をもてる人になってもらえたらと思います。」

●夏の全国大会への意気込みは

【高橋キャプテン】「本当の夢は全国制覇ですが、まずは夏の全国大会でベスト4をめざして頑張りたいです。チーム全員で声を出し、これまでの練習の成果を出して楽しんでプレーしたいです。」



体育館では、選手の皆さんの元気なかけ声が響いています。練習を見守るお母さん方、コーチとしてボールを投げ込むお父さん方も真剣です。練習中、いいプレーが出れば、選手の皆さんを鼓舞するように、笑顔で拍手をしている姿が印象的でした。その熱心な姿が、選手の皆さんの成長につながっているのではないのでしょうか。